

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
芸術	音楽 I	全学科	1年	2単位	MOUSA 1 (教育芸術社)	配布プリント等

<b>学習の到達目標</b>	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</li> <li>2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</li> <li>3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</li> </ol>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
定期テスト・実技テスト・観察 など	定期テスト・実技テスト・観察 レポート課題・討論・発表 など	観察・レポート課題・練習記録 討論・発表・学習の振り返り など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4   7	【歌唱】 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう (校歌等) 楽譜の読み方・書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>・音色を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</li> <li>・表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○		○
4   7	【鑑賞】 音楽の諸要素 (アンパンマンマーチ、ネーミング、物語と音楽)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・曲想と音楽を形づくっている要素の関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
4   7	【器楽】 キーボードの演奏 コードネームの学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法の技能を身に付け、器楽で表している。</li> <li>・リズム、速度、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</li> <li>・様々な曲をキーボードで演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
7   9	【歌唱】 合唱の響き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</li> <li>・合唱の響きを生かして歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9   12	【創作】 コード進行の面白さに触れよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な旋律を作る技能を身に付け、創作で表している。</li> <li>・旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。</li> <li>・コード進行と旋律の関わりについて関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
9   12	【器楽】 ヴァイオリンの演奏 (きらきら星変奏曲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</li> <li>・音色、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</li> <li>・ヴァイオリンの演奏に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9   12	【歌唱】 Caro mio ben 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</li> <li>・曲想と歌詞の関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9   12	【鑑賞】 ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・作品の中での音楽の使われ方に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
1   2	【歌唱・鑑賞】 我が国の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</li> <li>・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>・我が国の伝統音楽の特徴に関心をもち、主体的・協働的に歌唱・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
1   2	【歌唱・器楽】 演奏会を開こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</li> <li>・様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</li> <li>・演奏会に向けてグループで準備をすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱・器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
芸術	美術 I	全学科	1年	2単位	美術 I (光村図書)	

<b>学習の到達目標</b>	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
作品、ワークシート、活動記録簿、観察等	作品、ワークシート、活動記録簿、観察等	作品、ワークシート、活動記録簿、観察等

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	オリエンテーション 「美術は自由だ」 【鑑賞】 浅井祐介、パブロ・ピカソ、他	<ul style="list-style-type: none"> <li>形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>鑑賞活動において、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。</li> <li>主体的に各作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の表現の意図などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
4   6	【表現】【鑑賞】 絵画 「未来予想図を描く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物や抽象的なものの組み合わせ、構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>想像したことや作品の印象から感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体や色彩、構図などの効果を考え、イメージを組み合わせるなど創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>主体的に想像し、作品の印象から感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
7	【鑑賞】 絵画 「絵巻物を楽しむ」 鳥獣人物戯画	<ul style="list-style-type: none"> <li>形や墨の質感などが感情にもたらす効果や、時間表現の構成の工夫などの造形的な特徴などをもとに、絵巻物を全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</li> <li>時間の流れを表現した絵巻物から描写のユーモアや構成の工夫、創造性などを感じ取り、絵巻物ならではの表現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特質などについて考え、見方や感じ方を深めている。</li> <li>主体的に絵巻物からの表現の工夫や創造性などを感じ取り、絵巻物ならではの表現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特質などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9   12	【表現】【鑑賞】 彫刻 「仮面の制作」	<ul style="list-style-type: none"> <li>意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現の形態や方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。</li> <li>生活の中で生かせる造形物について考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>主体的に自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした</li> </ul>	○	○	○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
		表現の創造活動に取り組もうとしている。			
1   2	【表現】【鑑賞】 デザイン 「切り絵の制作」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り絵の単純化や省略、強調などの造形的な特徴を理解し、主題を生成して全体のイメージや作風、様式などでとらえることを理解している。</li> <li>・動植物やイメージによる形体などから主題を生成し、単純化や省略、強調など造形的に創意工夫し、表現の構想を練っている。</li> <li>・主体的に単純化や省略、強調などの造形的な特徴を捉え、工夫してデザインする表現の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
2   3	【表現】【鑑賞】 映像メディア表現 「アニメーションの制作」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図に応じてカメラやコンピュータ等の用具の特性を生かすとともに、撮影の方法や用いる小道具などを工夫し、表現の意図を効果的にあらわしている。</li> <li>・撮影方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどをもとに、映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>・主体的に、構図などによる印象の違いやアニメーションならではの動きなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
芸術	書道 I	全学科	1年	2単位	書 I (光村図書)	

<b>学習の到達目標</b>	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感じ意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
作品、学習プリント、レポート等	作品(制作の構想や工夫、表現力)、レポート、相互評価等のコメント等	授業態度、作品(進捗度)、振り返りシート

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写と書道の違いについて理解している。</li> <li>書の奥深さを知り、書の文化に親しみをもつことができる。</li> <li>書道に関心を持ち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。</li> </ul>	○	○	○
4	1 漢字の書 漢字の変遷と書体	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の成り立ち、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。</li> <li>漢字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>漢字の書体の変遷やその背景にある歴史や文化に興味をもち、主体的に漢字の幅広い鑑賞学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
5   6	〔楷書〕 孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘・雁塔聖教序・顔氏家廟碑・牛橛造像記	<ul style="list-style-type: none"> <li>各古典の特徴を時代と人物を通して鑑賞し、表現のちがいを理解している。</li> <li>楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</li> <li>鑑賞と臨書を通し、主体的に楷書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
7	〔行書〕 蘭亭序・風信帖	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の特徴を理解し、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</li> <li>鑑賞と臨書を通し、主体的に行書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
7	〔隸書〕 曹全碑 〔篆書〕 泰山刻石	<ul style="list-style-type: none"> <li>隸書、篆書、特有の字形や線質の特徴を理解し、用筆・運筆・結構法を身につけている。</li> <li>隸書、篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫し表現している。</li> <li>鑑賞と臨書を通し、主体的に隸書と篆書の幅広い表現活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9	篆刻 姓名印を刻す	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具・用材の特徴を知り、篆刻が芸術の作品として鑑賞の対象となる書表現の一つであることを理解している。</li> <li>篆刻の手順と技法を理解する。</li> </ul>	○	○	

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
		<ul style="list-style-type: none"> <li>書体や書風に即した字形、全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>主体的に篆刻の幅広い表現・鑑賞活動に取り組もうとしている。</li> </ul>		○	○
10	古典を生かした創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の線質、字形や構成を生かした表現について理解している。</li> <li>自ら表現したい語句を選び、古典に基づいた書体や書風を生かし表現形式や全体構成を工夫して表現している。</li> <li>漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>創作・鑑賞を通し、主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○ ○	○
11   12	2 仮名の書 成立と種類 蓬萊切 高野切第三種 継色紙・寸松庵色紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</li> <li>仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。</li> <li>平安時代の古筆を参考に行の長短や高低、行間の広狭、全体の紙面構成について工夫している。</li> <li>主体的に仮名の書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○ ○	○
1   2	3 漢字仮名交じりの書 心に響く言葉を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>名筆や現代の書の表現と用筆・運筆とのかかわりについて理解し、目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による技能を身につけている。</li> <li>自分の感性や受け止めた詩文などを題材に、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</li> <li>創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>相互評価を通して表現を練り上げ、作品を完成しながら鑑賞会にむけて主体的・意欲的に創作活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○ ○	○
2	生活の中の書 履歴書・葉書き・表書き の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写能力を向上させるとともに、目的や用途に即した効果的な表現について理解している。</li> <li>生活や社会における書の効用について考えることができる。</li> <li>正しく、美しく書こうと意欲的に学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○